

“新しい鎌ヶ谷市”を創っていきましょう！

ふじしろ政夫

新型コロナウイルス感染症パンデミックで私たちの社会の医療・介護・福祉・社会的セーフティネットの脆弱性、格差と貧困の社会問題があぶりだされました。

コロナ感染症や気候変動(温暖化)の原因がこれまでの特にこの40年間の新自由主義の経済により地球環境が破壊されたことによるることは明らかです。

ふじしろ政夫は、市議・県議16年の経験と、コロナ感染症/パンデミックの中での実践から目の前の諸課題をなんとしても市民の皆様と一緒に解決したい思います。

21世紀の持続可能な街“新しい鎌ヶ谷”をつくっていきましょう。



○新型コロナウイルスから市民の生命と暮らしを守るまち

*ワクチン(安全性を確認して)接種ができる体制を一日も早く実施し、
*「いつでもどこでも無料でPCR検査を受けられる仕組み」を作り、
*「コールセンター・発熱外来・検査・医療」の体制を整え

コロナから鎌ヶ谷市民の生命と暮らしを守る街にしたいです。

○地域医療と看護・介護・福祉のプライマリーヘルスケアのまち

*医療と看護と介護と福祉とが連携し一人一人に寄り添う地域包括ケアの街=プライマリーヘルスケアの街を創りましょう。

○緑が豊かで環境にやさしいまち

*地球環境の破壊をストップ!気候変動対策に全力を尽くす“脱原発・再生可能エネルギーの街づくり”を実現させましょう。
*斜面林・保全林・散策路を保全整備して“緑の街”に。
*“給食と農業との連携”で地産地消の農業を支えていきます。
*暮らす人が安心して歩ける道路(歩道)整備をするのが街づくりの基本です。

○障がい者や高齢者、ひとり親世帯を支えるまち

*“合理的配慮”“インクルーシブ教育”で、障がいのある人もない人もありのままに共に暮らせる街をつくりましょう。
*「寝たきり老人」のいない介護を作らなければなりません。
*高齢者・子どもそして障がいのある人もない人も一人ひとりに寄り添う「地域包括ケアシステムのかまがや」をつくる必要があります。
*コロナ禍で職も住居も失った人を誰一人残すことなく支えあうことが出来る“出かける福祉”的まち鎌ヶ谷を作るのが肝要です。
*エッセンシャルワーカー(医療従事者・保育士・看護師・介護士・ゴミ収集者など)を正当に評価する街。“公”的復権で格差と貧困を解消する“分かち合いの社会”を創りましょう。「公契約条例」を制定しましょう。

*「生活保護は国民の権利」を実現する街をつくり、誰一人取り残されることのない支えあう福祉の街を創りましょう。

○子どもたちが健康で元気に自分らしく成長できるまち

*少人数学級(25名)を実現。

*学校給食の無償化と有機食材化を実現。

*保育園・学童の拡充を実現。

*学校の教員の超過勤務を解消させましょう。

*安心して生み育てることが出来る街をつくりたい。産科・小児科・周産期医療の充実



○市民1人ひとりが自分たちでつくるまち

*予算作成過程(意思形成過程)に市民が参加する仕組みを作り、

*市民主権を実現する“住民投票条例”を作り、

*「情報の公開と説明責任」が実現される公開性と透明性のある街にしましょう。

「市民が主役」を言葉だけではなく本当に実現させましょう。

○個人の尊厳が尊重されるまち

*女性・男性・LGBT、一人ひとりの個人の尊厳を大切にする街。

*パートナーシップ条例を制定しましょう。

*「同一価値労働同一賃金」を実現し、女性や非正規で働いている人々の待遇を改善しなければなりません。

*「生理用品の無償配布」の仕組みを作りましょう。



○騒音のない平和な空を守れるまち

*下総基地の航空機騒音の解消に向けて下総基地と騒音協定を結ぶ。

*NLP(米艦載機の夜間離着陸訓練)に反対します。オスプレイの飛来を認めません。

*非核平和宣言都市としての平和行政を実行する街。

*ヒロシマ・ナガサキ非核平和を祈念する集いを市が実施するようにしましょう。

○都市整備と産業

*北総鉄道の高運賃の値下げを実現させましょう。

*初富交差点の右折道路の早期実現。

*北千葉道路との交差部における船橋我孫子線の直進通行の確保。

*大柏川第二調節池・二和川洪水対策工事の早期完成を。

*地域分散型エネルギーと産業を構築しましょう。

*小金牧捕込・野馬土手、渋谷家住宅、鎌ヶ谷大仏などを保全・活用して鎌ヶ谷の歴史と文化を大切にしましょう。

*大津川と佐津間城跡と田畠を再生して里山景観を復活させましょう。

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

*活動報告HPに掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。